

年次有給休暇取得日数の計算方法

対象労働者（常時雇用する労働者）

期間の定めなく雇用されている者 または 2か月を超えて雇用される者であり、かつ、週当たりの労働時間が通常の労働者と概ね同等である者。

取組期間

参加決定日から当該年度の2月末までの間で3か月間を設定します。

「労働者1人あたりの平均年次有給休暇取得日数」計算方法

	*1
$\text{平均年次有給休暇取得日数} = \frac{\text{取組期間中(3か月間)各月の取得日数 合計}}{\text{取組期間中(3か月間)各月の対象労働者数 合計}} \times 3$	*2

- *1 月間の年次有給休暇取得日数を3か月に換算した数値を使用します。
- *2 期間の途中で入社・退社した者がいる場合は、満1か月間在籍した月分のみを計算対象としてください。
また、期間の途中で年次有給休暇を付与された者については、付与後、満1か月間を経過する月分のみを計算対象としてください。

計算例

計算1 当該年度取組実績の算出方法(10月1日から12月31日を取組期間とした場合)

	10月	11月	12月	合計
年次有給休暇取得日数	50	30	30	110
労働者数	24	24	25	73
	労働者1人あたりの月間平均年次有給休暇取得日数			1.51
	労働者1人あたりの3か月間平均年次有給休暇取得日数			4.53

- *3 110 日 ÷ 73 人 ÷ 1.51 日 (小数点第3位を四捨五入)
- *4 1.51 日 × 3 か月 = 4.53 日

計算2 過去2年間同時期の平均年次有給休暇取得日数の算出方法

	10月		11月		12月		労働者1人あたりの月間平均年次有給休暇取得日数	労働者1人あたりの3か月間平均年次有給休暇取得日数
	年次有給休暇取得日数	労働者数	年次有給休暇取得日数	労働者数	年次有給休暇取得日数	労働者数		
前年(1年前)	12	23	10	24	6	25		
前々年(2年前)	13	24	7	24	9	24		
過去2年の実績計	25	47	17	48	15	49	0.40	1.20

- *5 57 日 ÷ 144 人 ÷ 0.40 日 (小数点第3位を四捨五入)
- *6 0.40 日 × 3 か月 = 1.20 日

計算3 取組実績の判定方法

当該年度取組期間中の平均年次有給休暇取得日数		過去2年間同時期の平均年次有給休暇取得日数		増加日数
計算1により 4.53 日	—	計算2により 1.20 日	=	3.33 日

この事例では、増加日数が3.33日であり、3日以上増加となっているため取組達成です。